

中学生の「税についての作文」

上越市租税教育推進協議会長賞

税について私が思うこと

上越市立直江津東中学校 三年

横川 瑠香

税金は、国や地方自治体が公共の医療や福祉、教育などに必要なお金を集めるものです。みんなが責任を持って支払う税金があるおかげで、私たちは日々便利で快適な社会生活を送ることができます。今回は、税金の大切さと身近な使い道について紹介します。

税金が大切な理由は、社会の基盤整備があげられます。税金は、道路や橋、公園、学校の他、病院などの社会基盤整備に必要不可欠です。例えば、私たちが日々使っている交通機関も、税金が使われています。路線バスや電車が走るためには、車両や線路の整備に多額のお金がかかります。そのため、私たちが税金を納めることで、公共交通機関が安定して提供されることにつながります。さらに、税金は福祉や医療の分野にも使われます。高齢者や障がい者を支援するための施設やサービス、病院での医療費補助なども、税金が使われます。これによって誰もが安心して生活することができる社会が形成されます。ただし、税金を納めることは、誰にとっても簡単なことではありません。給料が少なかったり予期せぬ出費が出て込んだりすると、税金を納めるこ

とが厳しくなるかもしれません。しかし、義務教育や医療保険などは、誰しが必要なものです。どのような状況にあっても一人ひとりができる限りの税金を納めることが、社会に貢献することにつながってきます。そして、防災対策にも用いられる税金もあります。自然災害が発生した際には、自治体が被災者支援や復興に尽力します。そのためにも、税金が積極的に投入されています。また、日本では、義務教育段階までは公立学校に通うことができます。公立学校には、運営費や教員の給与などに多くの税金が投入されています。また、奨学金制度など、高等教育を受けるための支援制度にも税金が使われています。以上のように、税金は私たちの生活に欠かせないものであり、社会の発展に大きく貢献するものであると感じることができません。私たちは、日々の生活の中で身近な使い道に触れることができます。税金を納めることが厳しくても、今と未来を支えると思つて少しでも納めることができれば、社会に貢献する意識が生まれるかもしれません。私自身も税についてもっと知り、社会に貢献できるようになりたいです。